



育苗箱全量施肥の導入には何が必要ですか？ 苗箱まかせ® は他社の被覆肥料でも代替できますか？

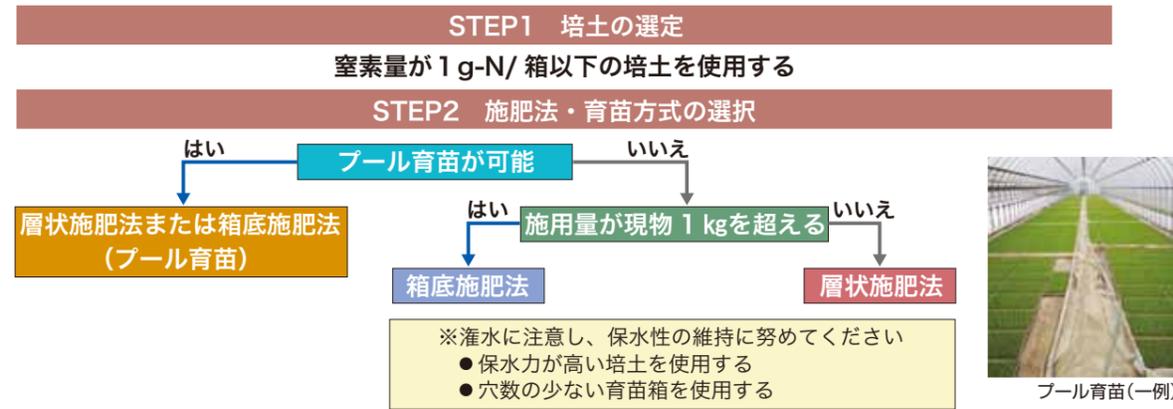
現在、育苗箱全量施肥の専用肥料は苗箱まかせ® のみで、初期の溶出をできるだけ抑えています。他社の肥料では生育障害がおこる可能性がありますので使用しないでください。また、施肥にホッパーが必要な場合は購入を検討してください。

苗が乾きやすく、灌水が大変です。何かよい手はないですか？

プール育苗で育苗する、保水性の高い培土を使用する、育苗箱は穴数の少ないものを利用するなどの工夫を行ってください。また、特に育苗箱の縁が乾きやすいので注意して灌水を行ってください。

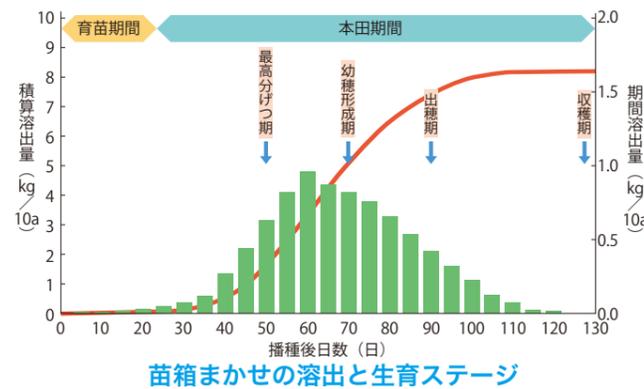
育苗がポイントと言いますが、培土や施肥法を選ぶポイントは？

使用する培土の窒素量は必ず箱あたり 1g 以下としてください。施肥法を選ぶ際は、プール育苗での栽培の可否が一つのポイントです。下記のチャートを参考にしてください。



まわりの圃場に比べて茎数が少なく葉色も淡いようです。追肥してもいいですか？

苗箱まかせ® は、初期の溶出を極力抑え、最高分けつ期ごろから溶出します。穂数は少なくとも有効茎歩合が高いため収量に影響はありませんのでこのまま様子を見てください。追肥してしまうと、生育障害、倒伏、食味の低下につながる可能性があります。



興味はあるのですが、収量が減らないか心配です。

一般的に利用率は高いのですが、圃場の条件や地域、作型によっては効果が出にくい場合もあります。まずは小規模で試験的に栽培してみてください。

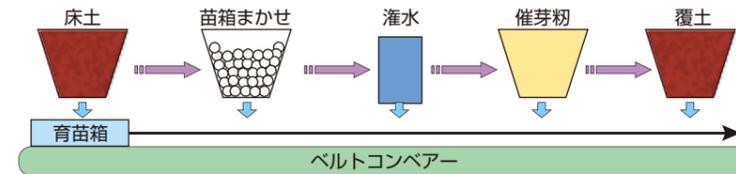
育苗箱全量施肥スタートガイド

- 播種時に必要な窒素肥料を育苗箱に施肥するため、本田での施肥作業が必要ない超省力技術です。
- 本田での施肥作業がないので、天候に左右されない計画的な田植え作業が可能です。
- 利用率が高いため、対化成肥料慣行で30~40%、対全量基肥一発慣行で10~20%の減肥が可能になります。



こんな方にオススメ!

- ★真夏の追肥作業が大変なので楽にしたい!
- ★大規模経営で追肥に時間がかけられない!
- ★麦作・野菜作も行う複合経営をしているので、水稲作の作業省力化をはかりたい!
- ★田植え時に雨が降るとスケジュールが変わってしまうので困る!
- ★無駄な肥料をやらずにコストにも環境にも優しい稲作にしたい!



育苗箱全量施肥における播種の基本(一例)



育苗箱全量施肥の播種(一例)



育苗箱全量施肥には、専用肥料「苗箱まかせ®」を使用します。作型・銘柄からタイプを選択してください。施肥量は中面の早見表もしくはマニュアルを参考にしてください。

苗箱まかせ® はジェイカムアグリ株の商標登録です。 ※すべて10kg袋での出荷となります。

銘柄名	シリーズ	タイプ	溶出日数(25°C)			保証成分(%)		
			80%溶出日数	溶出抑制期間	主溶出期間	窒素	りん酸	加里
苗箱まかせ N400	60	約 60 日	約 30 日	約 30 日	40	0	0	
	100	約 100 日	約 30 日	約 70 日	40	0	0	
	120	約 120 日	約 40 日	約 80 日	40	0	0	
苗箱まかせ NK301	60	約 60 日	約 30 日	約 30 日	30	0	10	
	100	約 100 日	約 30 日	約 70 日	30	0	10	
	120	約 120 日	約 40 日	約 80 日	30	0	10	





培土の選択

P 6

- ★育苗用肥料をブレンドする場合は慣行の半量を基本とします（ただし、箱あたり窒素量が1gを超えない範囲）。
- ★人工培土を使用する場合は、窒素量が1g以下の培土を選択します。
- ★特にプール育苗ができない場合は、保水力が高い培土（軽量培土など）を選択します。

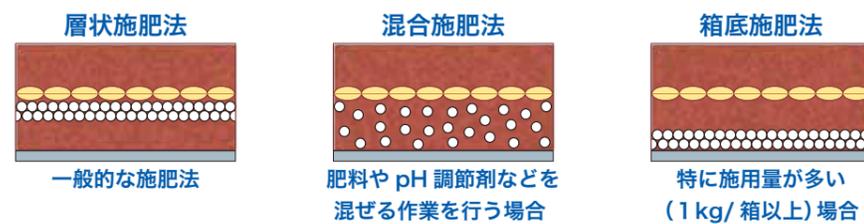
育苗箱の種類

P 13

- ★できるだけ穴数の少ないものを使用してください。
- ★中成苗用は穴が大きく穴数も多いので避けてください。

施肥法の選択

P 7



播種時の注意点

P 6-9,12

- ★地面に落ちた肥料は使用しないでください。
- ★開封したら、もしくは土と肥料を混合したら使い切ってください。
- ★床土に十分に灌水をし、覆土に水がしみ出てこない場合はジョウロで軽く灌水してください。

出芽時の注意点

P 14

- ★強制出芽の場合は 30℃を基本としてください。
- ★無加温平置き出芽の場合は、温度が上がり過ぎないように注意し、出芽までの培土の乾きに注意してください。

育苗方法の選択

P 14

- ★より安定した育苗には**プール育苗**がおすすめです。特に育苗後半に高温になりやすい西南暖地ではプール育苗をおすすめします。

育苗の注意点

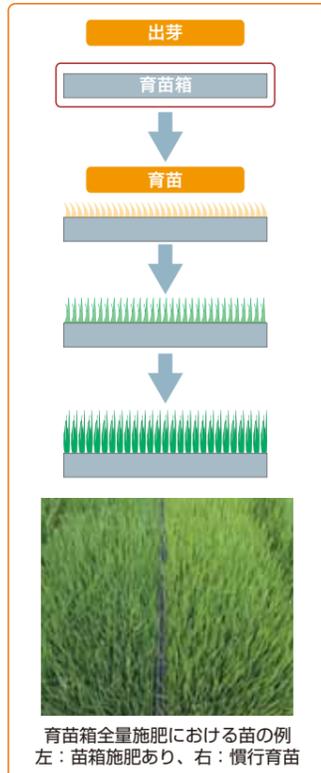
P 15

- ★育苗環境が高温にならないように注意してください。
- ★苗が乾きやすい(特に育苗箱の縁)ので、**灌水回数を増やしてください**。
- ★まれに育苗中に苗の一部が白化してしまう現象がみられますが、生育・収量にはほとんど影響ありません。

育苗箱全量施肥の苗

P 15

- ★若干徒長気味になり、葉色がやや濃いめになります。
- ★田植えに支障のない程度に苗が生育したら田植えを実施してください。



りん酸・加里の施肥

P 16

- ★N400を使用した場合はりん酸と加里、NK301を使用した場合はりん酸の施肥が必要です。
- ★**土づくり肥料**と共に施肥することが基本ですが、秋にできない場合は基肥としてりん酸・加里を含む肥料を施肥してください。

田植えの注意点

P 17

- ★育苗箱使用枚数を確認してください。
- ★補植用の苗は、苗箱まかせ®の入っていない通常の苗を使用してください。※欠株でも肥料は施肥されているので、苗箱まかせ®の入っている苗を補植すると窒素過多になります。

本田施肥

P 17

- ★本田への窒素の**施肥は基本的には不要**です。※生育異常や倒伏を起こすことがあります。

生育の特徴

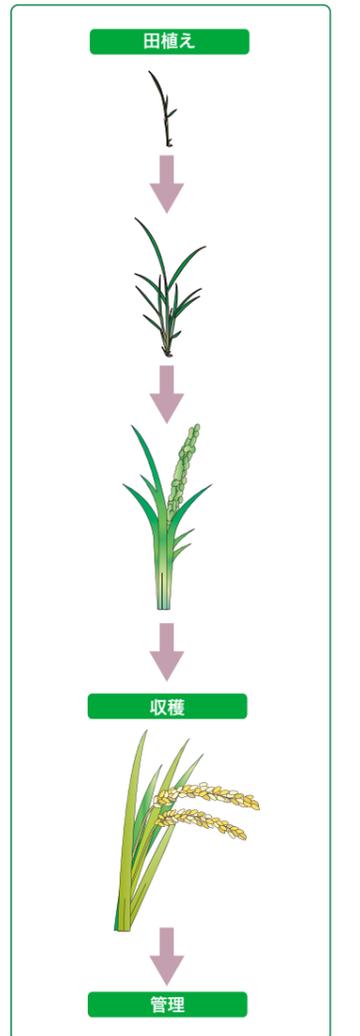
P 17

- ★初期の茎数が少なめで、葉色もやや淡めになります。※以上のような症状が見られても追肥しないでください。
- ★有効茎歩合が高く、穂数は同等～少なめとなる傾向があります。

収穫後の圃場管理

P 17

- ★**土壌分析**により土の状態を確認しましょう。
- ★りん酸・加里が不足している場合は、**土づくり肥料**を用いて土づくりを行いましょう。
- ★地力が発揮できるように荒起こし(秋耕)を行いましょう。



苗箱まかせN400 施肥早見表

(g/箱)

10aあたり 移植箱数	10aあたりの窒素施肥量 (kg)										
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
10	750	1,000	1,250	1,500	1,750	2,000	2,250	2,500	2,750	3,000	3,250
14	540	710	890	1,070	1,250	1,430	1,610	1,790	1,960	2,140	2,320
18	420	560	690	830	970	1,110	1,250	1,390	1,530	1,670	1,810
22	340	450	570	680	800	910	1,020	1,140	1,250	1,360	1,480
26	290	380	480	580	670	770	870	960	1,060	1,150	1,250
30	250	330	420	500	580	670	750	830	920	1,000	1,080
34	220	290	370	440	510	590	660	740	810	880	960
38	200	260	330	390	460	530	590	660	720	790	860
40	190	250	310	380	440	500	560	630	690	750	810

苗箱まかせNK301 施肥早見表

(g/箱)

10aあたり 移植箱数	10aあたりの窒素施肥量 (kg)										
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
10	1,000	1,330	1,670	2,000	2,330	2,670	3,000	3,330	3,670	4,000	4,330
14	710	950	1,190	1,430	1,670	1,900	2,140	2,380	2,620	2,860	3,100
18	560	740	930	1,110	1,300	1,480	1,670	1,850	2,040	2,220	2,410
22	450	610	760	910	1,060	1,210	1,360	1,520	1,670	1,820	1,970
26	380	510	640	770	900	1,030	1,150	1,280	1,410	1,540	1,670
30	330	440	560	670	780	890	1,000	1,110	1,220	1,330	1,440
34	290	390	490	590	690	780	880	980	1,080	1,180	1,270
38	260	350	440	530	610	700	790	880	960	1,050	1,140
40	250	330	420	500	580	670	750	830	920	1,000	1,080

注意：施肥量は、十分確認の上決定してください。

■部は、箱底施肥やプール育苗による対応をおすすめします。

■部は、本施肥法はおすすめしません。確認の上ご使用ください。